暮らしのなかにＪＡを

JA 京都

ぱあとなぁ～

2
February 2022

https://jakyoto.com JA 京都 検索

Vol. 239

［特　集］
トラクターを安全に使いましょう！

［農チャンネル］
念願だった牧場経営への新規参入を実現

JA京都のイベントや情報をお届けします LINE

今月の表紙／上羽　裕樹さん「京の風」(P06)で登場!

特集

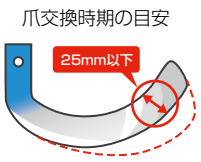
トラクターを安全に使いましょう!

トラクターが活躍する春が近づいています。
農機具を使用する前に点検・メンテナンスを行うことで、
トラブルを回避できる場合があります。スムーズな農作業のためにも
基本的なセルフチェックができるようになりましょう。

シーズン前にセルフチェック

基本的な点検ポイントを紹介します。トラブルの原因を減らせば、機械の寿命が延び、
作業者の安全にもつながります。

●シーズン前のチェック項目

場所	エンジン回り			作業機	走行部	格納庫の床
チェック項目						6 格納庫の床面をチェック
	1 エンジンオイルの量と汚れをチェック	2 ファンベルトの張りと損傷をチェック	3 バッテリーのチェック	4 耕運爪の摩耗、ゆるみをチェック	5 タイヤの空気圧、摩耗、亀裂をチェック	
トラブルの現象	オイルの不足や劣化はオーバーヒートや出力低下、白煙の発生を招きます。エンジンが焼き付く前にオイルの交換、補充をしましょう。	ベルトの回転に異常があるとオーバーヒートやバッテリー上がりの原因となります。	バッテリー液の量を確認します。メンテナンスフリー式バッテリーの場合は、上部のインジケーターで確認します。	摩耗やゆるみがあると十分な耕運ができません。爪の幅が約25mm以下になったら交換時期です。	天候や気温によってタイヤの張りは変動します。空気圧の異常や摩耗、亀裂は、パンクや操舵性の悪化、けん引力の不足などの原因になります。	床面の染みを見ると、どの箇所から液モレ（冷却水、燃料、オイルなど）が発生しているかが分かります。

※チェックは必ずエンジンを止めて安全な環境を確保してから実施してください　※メーカーや機種の違いによって、点検項目、内容に違いがある場合があります

一番多いのは“バッテリー”のトラブル

バッテリーは長期間使用しない場合、自然放電してバッテリー上がりとなる恐れがあります。そのため3カ月に1度くらいの点検・充電が必要です。使い方や使用期間、季節によっても充電が足りなくなる場合もあるので、使用前のバッテリーチェックを習慣にしましょう。

こんな経験はありませんか？

- ランプが点くのにエンジンが動かない
  ➡セルは回ってもエンジンを動かすのに電気が足りない場合がある
- つい最近使ったのに、バッテリーが上がってしまった
  ➡規定回転数（2000 回転）以上で使わないと充電しない
- 規定回転数（2000 回転）以上で使っても充電しない
  ➡充電機能が不良になっている可能性がある

知っておくと安心です

- バッテリーの耐用年数の目安は３～５年（購入時に確認する）
- 横面が膨らんできたら交換時期が近づいているサイン
- バッテリー交換の際は、必ずマイナス端子から外す（取付時はプラス端子から）

横面の膨らみをチェック

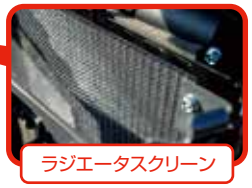
故障かなと思ったら

トラブル1 水温計が上がる・異常ランプが点く

- ファンベルトが緩んでいませんか？
  ➡たわみの調整、ベルトの交換など
- 冷却水が少なくなっていませんか？
  ➡冷却水の補充

冷却水

- ラジエータスクリーンにゴミが溜まっていませんか？
  ➡ゴミの除去
- エンジンオイルの量が少なくなっていませんか？
  ➡オイルの交換・補充


ラジエータスクリーン

トラブル2 エンジンの力が出ない

- エアクリーナエレメントが汚れてませんか？
  ➡ホコリの除去

エアクリーナエレメント

- 燃料フィルタが汚れていませんか？
  ➡交換はJA農機センターまで

ＪＡ全農京都
中部農機事業所 北部農機事業所
芦田　茂所長

農機具はベストな状態で使いましょう

この特集では、農業に従事して間もない方や親御さんから急に農作業を任されるようになった方など、農機具の扱いに不慣れな方に向け、トラクターの基本的な点検項目に絞りました。

セルフチェックを行うことにより、機械を長持ちさせ、作業者の安全性も向上させることができます。使用者ご自身の点検作業を習慣化することで、よりよい営農活動につなげていただきたいと思います。

ここで挙げているトラブルの例はほんの一部です。原因がわからない故障や困りごとがあるときはＪＡ全農京都 農機センターにご相談ください。機械整備のプロが対応させていただきます。

修理・交換が必要な場合は JA全農 各農機センターまでご相談ください

農チャンネル
NOU Channel
各地域の営農の取り組みを紹介

念願だった牧場経営への新規参入を実現

フリーストールではベッドが1頭ずつに仕切られ、エサは共通の通路から与える

舞鶴市の南素（もとい）さんは、第三者継承で牛舎を取得し、現在24頭の乳牛で酪農経営をしています。

飼養頭数、農家戸数はともに減少

京都府内の酪農及び肉用牛生産は、人手不足や輸入に頼る飼料価格をはじめ生産コストの上昇などにより、生産基盤の弱体化が懸念されています。

実際、飼養頭数、農家戸数はともに減少しています。乳牛は2013年度の4535頭から2018年度は3590頭（79・2％）に、肉用牛は同年度6522頭から5708頭（87・5％）に減少。農家戸数は、2013年度の酪農73戸、肉用牛95戸が2018年度は酪農50戸（68・5％）、肉用牛75戸（78・9％）と減っています。

また、60歳以上の経営者が占める割合は2019年度は酪農が54％、肉用牛が67％となっており、高齢化も進んでいます（2021年8月「京都府酪農・肉用牛生産近代化計画書」より）。

搾乳に向かう牛たち。牛舎内は自由に歩き回れる

現在、JA京都管内の農家戸数は、酪農38戸、肉用牛（和牛繁殖）47戸です。そのうち京都府北部の福知山市・綾部市・舞鶴市・宮津市・京丹後市、与謝野町・伊根町を管轄するのがJA京都畜産酪農部畜産酪農課北部営業所です。

「現在、北部管内には酪農16戸、和牛繁殖35戸があります。経営の維持・強化には、次世代を担う人

畜産酪農部畜産酪農課
北部営業所
〒623-0051 綾部市井倉新町中畠18
TEL. 0773-42-0378

材の確保と育成が重要です。後継者がいる農家の確実な経営継承を支援するとともに、後継者がいない農家は第三者継承を推進するなど考えていかなければならない」と北部営業所の山根一志所長は話します。

周囲に助けられ「第三者継承」を実現

畜産酪農経営が厳しさを増す中、2018年に酪農家として新規就農したのが、舞鶴市下漆原の南素さんです。

兵庫県加古川市生まれの南さんは、日本三大和牛「神戸ビーフ」「松阪牛」「近江牛」の素牛として知られる「但馬牛」に興味を持ち兵庫県立但馬農業高等学校（養父市）、兵庫県立農業大学校（加西市）で学びました。卒業後は地元で和牛繁殖をやりたかったそうですが、そういう土地柄でなく断念。京都府京丹後市の野村牧場や北海道の複数の牧場で酪農の研修を積みました。

ミルカーを取り付け、搾乳をする南さん

酪農家
南　素さん

「野村牧場では、バイタリティあふれる社長のもと、現場の作業から経営までみっちりと学びました。また、北海道では本場ならではの酪農を目にしました。それぞれの経験がいま生きていると思います」と南さんは言います。

そして42歳の時、「第三者継承」という形で独立しました。手に入れた牧場施設は総面積2825㎡。フリーストール式の牛舎、倉庫、糞尿から肥料をつくるプラントなどがそろっており、隣に住む山下六男さんの持ち物でした。綾部市の酪農家が借りていましたが、地元で牛舎を持つことになり、その後を借りることができました。

「市やJAから話があり、山下さんからは『使ったらいいで』と温かい言葉をいただきました。近くに数軒、畜産農家の先輩がおられ、助言をいただいたり、最初の牛は安く譲っていただきました。また、山下さんや関係機関の方々に、牛舎の修理を手伝っていただくなど、周りの方々の協力なしでは今日までこれませんでした。感謝しかありません」と南さん。山下さんに紹介してもらった近くの家に住み、地元の消防団にも所属しています。

「南さんは人柄が良く、地元の人とも良い関係が築けています。第三者継承は知らない所で事業を始めるわけですから、実はコミュニケーションづくりが一番大事です」と山根所長は話します。

担い手の発掘・育成に新たな取り組み

畜産酪農課北部営業所
山根 一志所長

初期費用の資金繰りがネックとなっている新規参入を、第三者から事業を継承することで初期費用を抑えて実現した南さん。3月で4年が経過し、5年目に突入します。その間、飼養頭数も順調に増えました。現在は搾乳20頭、育成4頭、合計24頭と、当初の計画通りに進んでいます。

「まだまだこれからです。フリーストール式の飼育で牛のストレスを軽減させることでコストを低減させ、無理のない経営を続けていきたいと思います。また、今後は輸入に頼っている飼料の一部を自分でまかなうなど更なるコストカットも考えていきたい」と南さんは言います。

山根所長は「昨年、京都府は、畜産業の担い手育成を支援する『京の畜産応援隊』を設立しました。府や市町村、JAなど関係団体の担当者で構成し、担い手の発掘・育成に取り組むとともに、畜産農家の経営基盤の整備を強化し、畜産業の持続的発展を目指すためにきめ細かな支援活動を行うものです。昨年12月に亀岡市で開かれたキックオフ会議の中で南さんは自らの体験を披露されました。このような就農希望者と経営移譲農家とのマッチングによる継承も進めていければと思います」と話します。

食と農、そして地域を結ぶ

京の風

KYO no KAZE

京丹後市丹後町在住
上羽（うえは）裕樹（ひろき）さん

Profile

1990年、丹後町に生まれる。大学の農学部に進学し、卒業後は愛知県の種苗会社に就職。農業資材の販売、ハウスの設計などに従事する。結婚を機にUターンし、就農して3年目になる。

自分のイチゴで丹後町を盛り上げる

わたしの活動

現在、イチゴ、堀川ごぼう、ブロッコリー、トウモロコシ、水稲の栽培をしています。3年前にUターンしてから始めたイチゴ栽培は、3棟で6000株ほど育てています。ハウス栽培は温度と湿度の管理が難しいですが、種苗会社に勤めていた時に得た知識を活用して、病気になりにくい品種を選んだり、ハウス内の光の量や暖房効率をよくしたりと日々研究、改良をしています。

活動のきっかけ

「30歳くらいまでには地元に戻ろうかな」と漠然と思っていましたが、静岡県で営業職をしている時に、イチゴ農家の方から影響を受け、自分でもイチゴを作ってみたいという気持ちが強くなりました。静岡県と丹後町は気候も違うため、栽培できるか不安でしたが、丹後町にイチゴ農家の方がいたこともあり、アドバイスしてもらいながら挑戦しました。

わたしの方針

栽培のこだわりはズバリ「味」。根の負担にならないように、伸びたランナーをこまめに摘み取ったり、わき芽をかき取ったりして、一粒が大きくおいしく育つように意識しています。今後は品質を高めながら、栽培面積を増やすのが目標。同年代の農家仲間と情報交換しながら、たくさんの人に食べてもらえるイチゴを作りたいです。

活動の拠点

3棟のビニールハウスと約135aの露地で栽培しています。

ホッと一息

地元の仲間と集まって、野球をする時間が好きです。

こんにちは！ 白須です

大切な年金をぜひJAでお受け取りください

JA京都常務理事　白須　秀幸

梅のつぼみが春を知らせる季節となりました。日頃より当ＪＡの各事業に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

現在、当ＪＡ管内では年金友の会会員が4万人を超え、ますます会員の輪が広がっております。そこで今回は年金の受取口座をご指定いただいた方への特典をご紹介させていただきます。

①年金友の会行事

会員の方同士の交流や健康増進を目的として、ゴルフやグラウンド・ゴルフ、ゲートボール、囲碁大会、旅行など多岐にわたるイベントを開催しており、多くの会員の方にお楽しみいただいております。当ＪＡで年金をお受け取りいただける方ならどなたでも参加いただけますので、未経験者の方もぜひこの機会にご参加ください。

現在は、新型コロナウイルス感染症により、年金友の会の活動も一部制限しておりますが、感染状況を確認しながら活動を実施してまいります。

②年に一度の素敵なプレゼント

大切な年金をお預けいただいている会員の方へ日頃の感謝を込めまして、お誕生日などに心ばかりのプレゼントや記念品※をお贈りさせていただきます。

※支店によりお届けの時期が異なる場合がございます。

③ご紹介キャンペーン

年金を当ＪＡでお受け取りになる方をご紹介いただきますと、ご紹介者・ご紹介された方それぞれがクオカード(1,000円分)をお受け取りいただけるキャンペーンを実施しております。まだＪＡで年金をお受け取りでないご家族・お友達がおられましたら、この機会にぜひご紹介ください。

④新たに年金振込を指定いただいた方へのプレゼント

年金振込を指定していただいたお客様に、心ばかりのプレゼント(ハンドソープセット)※をお贈りしております。

※プレゼントの内容は2月現在のものです

手続きは簡単ですので、ぜひ当ＪＡで年金のお受け取りをご検討ください。もしも、年金でお困りのことがあれば年金相談会も開催しておりますので、お気軽に各支店窓口までご相談ください。他にも、様々なキャンペーンや組合員・利用者の皆様に楽しんでいただけるような行事やイベントを行っております。今後ともご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

JA京都ならではの楽しい企画が盛りだくさん!!

年金友の会イベントに参加できます!

年金友の会のイベントに参加して、友達の輪をひろげてみませんか!

JA京都12月末の事業概況

- ●組合員数…… 5万1,807人
- ●貯金残高…… 4,643億255万円
- ●貸出金残高…… 328億5,991万円
- ●長期共済保有高…… 1兆2,565億4,966万円
- ●販売品取扱高…… 41億3,614万円
  （うち酪農センター※販売高 …… 20億5,229万円）
- ●販売品販売高…… 15億311万円
  ※米販売分
- ●販売品販売高…… 1億6,412万円
  ※農畜産物直売所たわわ朝霧分
- ●購買品供給高…… 26億5,462万円
  （うち酪農センター※供給高 …… 10億6,904万円）

※2022年1月24日より「畜産酪農センター」に名称変更しております。

ハツラツ女性部

女性部の活動は、JA京都の組合員・組合員家族の女性なら、どなたでもご参加いただけます。まずは女性部にご加入を。

※JA京都女性部では、政府の定める新型コロナウイルス対策を徹底し、活動を行っています。

八木　1/21　シイタケの菌打ちに挑戦 ～旧八木支店にて～

亀岡川東支店生産課の福井敏之課長を講師に、部員40人が参加。1人あたり原木5本分（合計200本）にドリルで穴をあけ、コマ菌を打ち込む作業を行いました。ケガに十分に注意しながら作業を終え、収穫を楽しみにされていました。

丹波　1/19　生活教室「健康料理教室」 ～同支店にて～

株式会社ＨＡＬムスイの西山靖さんを講師に招き、参加した部員14人がムスイ鍋の使い方や旬の食材を使った料理を教わりました。完成した料理はお弁当として持ち帰って試食しました。

網野　1/12・13　個性豊かにスノードーム作り ～同支店・浜詰区民センターにて～

『家の光』2018年11月号を参考に、参加した部員17人がお気に入りのフィギュアなどを使って、自分好みに仕上げました。参加した部員は「孫へのプレゼントにしよう」などと話していました。

宮津　1/21　お部屋の飾りにふくろうの置物作り ～同支店にて～

尾上百合子部長が講師となり、部員21人がふくろうの置物作りに挑戦しました。ふくろうは手縫いで作成し、土台となる木にどんぐりなどをアレンジして仕上げました。

一緒に活動しませんか？

峰山支店　峰山支店女性部

コロナ禍で行事が限られるなか、家庭菜園講習会やグラウンド・ゴルフ大会、焼き肉のたれ作りなど、地域の交流、親睦等、楽しく参加できる活動をしています。ただいま、部員募集中です。

概　要	
活動場所	峰山支店ほか
代表者	森山 幸枝 部長
活動内容	グラウンド・ゴルフ、家庭菜園等
メンバー数	363人

活動履歴	
10月28日	親睦グラウンド・ゴルフ交流大会
11月26日	押し花、カレンダー作り
12月 2日	干支押絵作り
12月 8日	正月しめ縄作り
12月16日	正月寄せ植え

八木支店・畜産酪農センターが盛大にオープン

JA京都は1月24日、八木支店と畜産酪農センターの店舗・施設を南丹市八木町の旧ライスセンター跡地（同町北広瀬松ノ木2-2）に移転し、オープンしました。

開店を祝してオープニングセレモニーが開催され、JAグループ京都の中川泰宏会長理事をはじめ、西村良平南丹市長、当JAの大槻松平代表理事理事長、関係者ら約40人が式典に参列しました。

新築移転は支店の老巧化に伴い、支店と酪農センターの機能を集約することで利便性を高めることを目的としています。

また、酪農センターは京都府内一円の畜産酪農業の拠点となることから「畜産酪農センター」として名称変更しました。

セレモニーでは、出席者全員によるくす玉割りとJA八木OB会の中川淳会長の音頭による農協牛乳での乾杯が行われ、今後ますますの発展を願いました。

中川会長理事は「多くの協力者のもと、無事にオープンすることができた。支店長をはじめ、JA役職員らがさらに八木町に根を生やし、地域の発展に努めていきたい」と話しました。

くす玉を割る西村市長（右）、大槻理事長（左）と関係者ら

しめ縄グループが祭事を見学

美山支店では毎年、京都市の伏見稲荷大社などへしめ縄を奉納しています。中でも、今年度から新たに結成した「しめ縄製作グループ」のメンバーの有志が、1月12日に開催された「奉射祭（ほうしゃさい）」の祭事に参加しました。

「奉射祭」は、年頭にあたって邪気や陰気を祓って陽気を迎えるとともに、五穀の豊凶を占う御弓始（おゆみはじめ）の神事です。

この日参加したメンバーは、自分たちが丹精して作ったしめ縄がどのように飾られ、祭事にどう使われているかなどを確認。毎年多くの参拝者で混雑する境内もコロナ禍で閑散としていましたが、巫女神楽の奉納や、製作した直径13cm、長さ13mのしめ縄に向かい神主が矢を放つ神事に見入っていました。

参加したメンバーは「過疎化が急速に進む地域だが、今後も後継者の育成に取り組み、地域の大切な伝統技術と文化の継承によって地域を盛り上げ、郷土を守っていきたい」と話しました。

奉射祭に参加したメンバーら

今年最初の和牛子牛セリ市開催

今年最初の和牛子牛セリ市が1月12日、福知山市の中丹家畜市場で開催されました。

JAグループ京都の中川泰宏会長理事は「コロナ禍が続く中、感染防止対策を徹底し多くの購買者に来場いただいたことにお礼申し上げます。和牛は不足しており、これからも伸びていく産業であるので、生産者が丹精して育てた子牛をしっかり購買していただきたい」とあいさつを述べました。

また、当JAの大槻松平代表理事理事長も出席し、組合員の育成技術を高く評価していました。

今回は京都府下より88頭の出場があり、1頭あたりの平均価格は68万9千円となり、前回市（11月）の66万6千円から2万3千円高値で取り引きされました（金額は全て税別）。

あいさつする中川会長理事

丹波くりのせん定作業進める

日吉支店管内では、11月から2月末まで休眠に入っている「丹波くり」の栗木のせん定作業が進められています。

この期間は、栗の樹のせん定を行うのに適した時期であり、期間中に作業を済ませることが肝心です。

せん定の目的は、余分な枝を取り除くことで樹の日当たりを良くするとともに、実のなる枝に樹勢を集めることで、大きな実を作るためです。併せて、樹が大きくなり過ぎないよう高さを調節したり、風通しを良くすることで、病害虫の発生を防ぐ効果もあります。

JA職員は「せん定は栗の品質を良くし、樹を健康に育てるために欠かせない作業。今後も徹底した管理ができるようサポートしていきたい」と話しました。

栗木のせん定作業を行う生産者

感謝DAY ～ほっこり・まったり・あったまろう～

宮津支店は12月8・9日の2日間、「組合員さま感謝DAY～宮津　冬の祭典スペシャル～」を開催。100人を超えるほどの来店者が訪れ、大盛況となりました。

当日は、室内グラウンド・ゴルフ大会や魚釣り大会を実施し、室内グラウンド・ゴルフ大会は3球チャレンジした参加者に、点数に応じた豪華景品をプレゼントしました。魚つり大会では1回のチャレンジで自分の好きな商品が釣れるよう、的を狙って釣り上げてもらいました。

また、同支店管内の農家が作った白菜やダイコン、シュンギク、やまのいもなどの野菜の直売コーナーも大盛況でした。

魚つり大会に挑戦する来店者

「京みのり」の消費者拡大へ

園部黒田支店は12月15日、南丹市のAコープ園部店で、園部町の特別栽培米コシヒカリ「京みのり」の感謝デーを開催しました。

「京みのり」は完熟園部ユーキ堆肥を主体に土づくりを行い、減農薬・減肥料による地球にやさしい環境保全型農業として栽培しています。

この日は、地元農家が丹精して栽培した米をおにぎりにして、来店者先着50人に配付しました。

PRした職員は「甘さや香りを楽しんでもらいながら、味わってほしい。今後も地産地消運動として、販促に協力していきたい」と話しました。

来店者へ「京みのり」のおにぎりを配付する職員

黒大豆・今年も良品質

ＪＡ京都管内は1月中旬に「新丹波黒大豆」の集荷ピークを迎え、ＪＡ豆施設では調製作業が行われています。

管内の集められた黒大豆は機械選別の後、割れや腐りがないか確認し、実需者の要望により手選別も行っています。

新丹波黒大豆はコロナ禍の影響もあり、和菓子需要は厳しい状況にあるが、近年ではお正月需要のほか、洋菓子やパンの素材として利用され、年々需要が高まっています。

今年の作柄は夏期の高温障害により、昨年と比べ収量が少ないものの大粒に仕上がっています。市場出荷は3月上旬まで行われる予定です。

集荷された黒大豆

大盛況　来店感謝祭

瑞穂支店は12月7日、組合員・利用者に日頃の感謝を込めて、同支店で感謝祭を開催しました。今年の春から職員が協力して栽培したサツマイモを使い、焼き芋や大学芋を振る舞いました。

この日は信用や共済事業のキャンペーンも行い、約１００人の来店者にＰＲしました。調理には、同支店女性部役員にも協力してもらいました。

来店者は「ＪＡならではの企画で大変良かった。作り方を知りたくなるほど、焼き芋も大学芋もすごくおいしかった」と話しました。

大学芋を作る女性部役員

付録アート展を開催中

久美浜支店では現在「付録アート展」を開催しています。これは、支店職員が毎月発行している支店だよりの付録として、２年前から作成した「まちがいさがし」や「塗り絵」などの作品をフロア内に展示したもの。

来店者が退屈にならないよう待ち時間等を有効活用し、少しでも楽しんでもらえるような企画を考案しました。

瀬尾隆弘支店長は「支店だよりの付録も組合員の方に定着してきており、毎月楽しみにされている。フロア内でも過去の作品が振り返れるような場を設け、多くの方に楽しんでもらいたい」と話しました。

来店者は「いつも楽しませてくれて、気分も明るくなる。今後も期待している」と話しました。

フロア内のアート展をＰＲする職員

給与振込キャンペーン2022

JA 京都

お申し込み期間（給与振込入金確認は9月末日まで実施）
2022年2月1日（火）▶2022年7月29日（金）

2022年2月1日～9月末日の間に、
『新たに5万円以上』の給与振込の
お受け取りが確認できた方へ！

※ただし、応募用紙でのお申し込みが必要となります。（7月29日まで）

先着300名様に
2,000円相当の
上記の景品を
いずれか1点
プレゼント！

※先着300名様に達した時点で終了となります。

さらに！ 新たに下記のお取引をしていただいた方には、「京都丹波高原食彩あん 無添加ジャム2個セット」を1点プレゼント！

給与振込と同時に、新たにJAカードとJAネットバンクをご契約いただいた方
※すでにご利用いただいている方は対象外となります。

もしくは

新たにJAの各種ローンをお申し込み期間内にご契約いただいた方
※対象のローンについては、JA京都支店窓口までお問合せください。

◎原材料
【ブルーベリー】
ブルーベリー（京都府産）
砂糖（粗製糖）、有機レモン
【京いちご】
いちご（京都府産）
砂糖（粗製糖）、有機レモン
◎内容量：約130g/個

趣味のある人生を愉しむ人を紹介します

人生の匠

船井郡京丹波町
大田 喜好（おおた きよし）さん
［83才］

1938年生まれ。45年間郵便局に勤める。和知民芸保存会と和知人形浄瑠璃会の会長として地域の伝統を伝える。

地域の子どもたちに伝統芸能を伝えたい

和知人形浄瑠璃の継承者だった祖父の同士に誘われて始めたのは30歳のとき。舞台では大きな人形を一人で操り、演者たちと息を合わせます。上手くいくとお客さんが身を乗り出すように観てくれて、人形の喜怒哀楽と同じ表情になるそう。物語が観客に伝わったことを肌で感じとることができる瞬間です。

和知を愛し、人形浄瑠璃を愛する人を増やしたいとの気持ちで、地元の小中学校にも足を運びます。地域の伝統を正規の授業として教える機会が持てるのは、学校の協力があってこそ。世代を越えた交流を通じて、地域愛が育まれ伝統芸能が継承されるよう日々奮闘しています。

「児童、生徒は一生懸命取り組んでくれます。進学や就職で和知や人形浄瑠璃から離れてしまっても、いつでも戻ってこられるように伝統を守っていきたい」と和知人形浄瑠璃と地域の明るい未来を願う大田さんです。

2021年度健康相談会

地域に密着したくらしの活動における健康管理活動の一環として、府内JAの組合員・JA役職員およびその家族の皆様が、心身ともに健康に暮らしていくため、医師による健康相談会を開催いたします。

開催時期
2021年4月～2022年3月の
第2・第4（水曜日）
※12月は第2水曜日のみ開催。
※都合により、開催日を変更することがあります。

開催時間
午後1時30分～3時
※相談時間は一人につき20分とし、1回の開催につき4人を定員とします。
※相談人数が多い場合は、別途相談日を設定することがあります。

相談料
相談料は無料です。

相談医師
JA京都中央会 顧問 **中村 孝志 氏**
独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 名誉院長
京都大学医学部附属病院 元院長

開催会場
京都JAビル
住所 京都市南区東九条西山王町1
アクセス
・JR京都駅八条口より徒歩5分
・近鉄京都駅八条口より徒歩7分
・市営地下鉄（烏丸線）京都駅より徒歩5分
・市営地下鉄（烏丸線）九条駅より徒歩4分
駐車場はありませんので、車でのご来場は遠慮ください

相談内容
府内JA組合員・役職員およびその家族で、病気の改善に向けた各種の相談
※人間ドック・健康診断等の結果および現在、治療中の病気に不安があるものに限ります。
※診察および治療は行いませんので、健康保険証は必要ありません。

事前の申し込みが必要です

申込書はお近くの支店窓口へ

お申し込み方法
相談をご希望の方は、相談申込書に必要事項を記入の上、原則として相談希望日の2週間前までに、郵送またはFAX、Eメールで送付ください。申込書を送付する際は、事前に電話連絡をお願いします。
なお、相談日および時間が確定次第、相談者へ通知いたします。

申込先および事前連絡先
〒601-8585 京都市南区東九条西山王町1
JA京都中央会 総合企画部 総合企画課
TEL 075-681-4323 FAX 075-692-2087
Eメール：kurashi@ja-chukt.or.jp

農業者のための積立年金

農業者年金

3つの要件を満たす方は誰でも加入できます。

加入要件は3つだけ

- 要件1：60歳未満
- 要件2：国民年金第1号被保険者（国民年金の保険料納付免除者を除く）
- 要件3：年間60日以上農業に従事

例）配偶者、後継者、自営業の兼業農家、早期退職した方とその配偶者など

農業者年金のメリット

❶ 保険料の設定
保険料は月額2万円～6万7千円まで、千円単位で自由に決められます。生活設計に合わせて、随時、変更できます。

❷ 80歳まで保証
終身年金で生涯受給ができます。80歳までの保証付きで、80歳までに亡くなられた場合は遺族に死亡一時金が支給されます。

❸ 税制面の優遇
保険料が全額、社会保険料控除の対象になります。経営主の確定申告時に、家族の保険料も合わせて控除できます。

詳しいご相談は最寄りのＪＡか農業委員会または農業者年金基金にお問い合わせください。

独立行政法人 農業者年金基金 TEL.03-3502-3199

いきいき菜園生活

「レタス」の栽培について

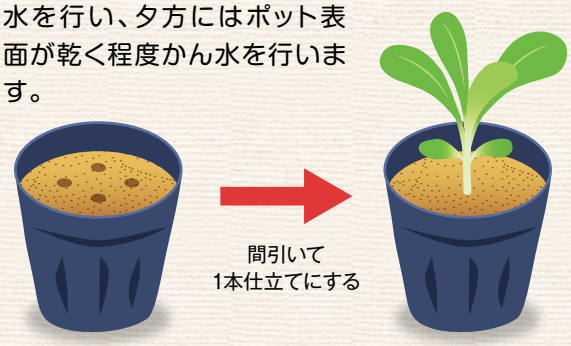
営農部企画営農課
片山　唯志

品目特性

- レタスはキク科作物の為、キャベツとよく似た形をしていますが、品目の特性は異なります。
- レタスは高温に弱い作物となるため、作型に応じた品種を選定してください。
- レタスには「玉」と「リーフ」があるため、使途に応じて品種選定してください。
- 品種が異なっても栽培方法は同一です。

1 苗づくり

6cmのポリポットを準備し、育苗培土を入れます。
レタスは18℃～20℃が発芽適温となるため、播種後は極力涼しいところで管理します。
また、光を好んで発芽促進されるため、覆土は極力薄くしてください。
発芽した後は、軟弱な苗にしないため、朝はかん水を行い、夕方にはポット表面が乾く程度かん水を行います。



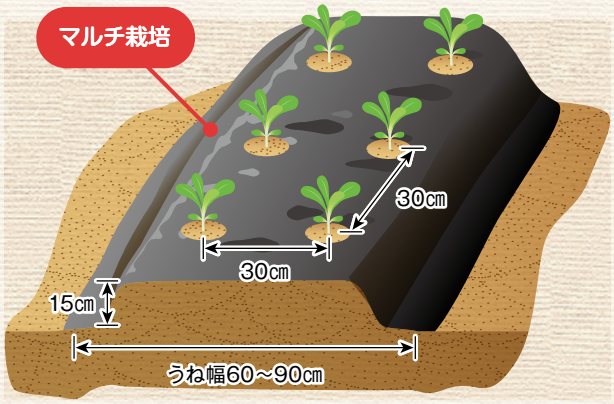
2 ほ場準備

レタスは生育中の酸素要求量が高いため、高畝にするなど万全の排水対策を行ってください。
レタスは急激な温度変化と湿度変化に弱いため、マルチを使った栽培がおすすめです。
高温期は地温を抑制する白黒マルチ、栽培適期時期は地温を確保しやすい緑マルチがおすすめです。

レタスは有機物の施用効果が高いので、基肥に10㎡あたりチッソ、リン酸、カリを150gと苦土石灰を1kg施用します（化成肥料14-14-14なら約1.1kg施用）。
また、生育中期以降にカルシウム欠乏による葉先枯れが発生する場合があるので、カルシウム肥料を基肥に施用することで葉先枯れの発生が軽減できます。

3 定　植

ポットで育苗した苗が、本葉4枚～5枚になったら定植を行います。
幅60～90cm、高さ15cmほどの畝を立て、マルチを敷きます。カッターナイフなどでマルチ約30cmごとに切り込みを入れ、根鉢を崩さないように、根鉢の表面と畝の土の表面が同じくらいの高さになるように植えましょう。植え終わったら、根元にたっぷりの水をやります。



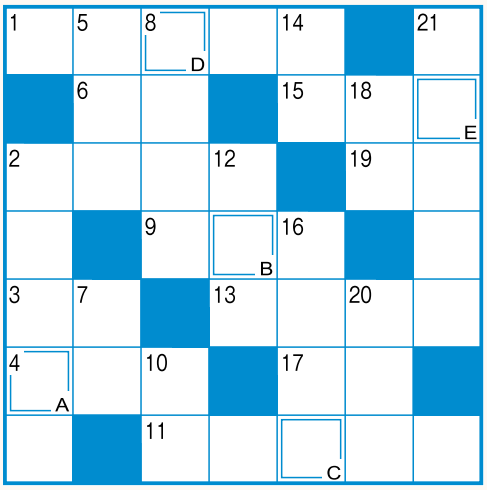
4 収　穫

適期になれば収穫しましょう。

玉レタス	頭を手のひらで軽く押さえてみて、弾力があり球がやや硬くしまった頃。
リーフレタス	草丈23～25cmくらい、芯葉が草丈7～8割ぐらい盛り上がった頃。

クロスワードパズル 頭の体操
アタマのタイソウ

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



解答欄 A B C D E

タテのカギ

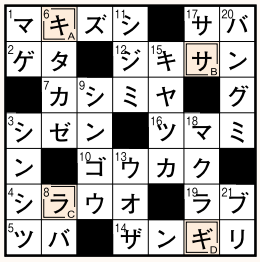
2 千客万来を願って飾る、動物の置物
5 野球のチームをプレー人数からこういうこともあります
7 大豆にはタンパク――が豊富に含まれます
8 まつげに塗る化粧品
10 坂本龍馬の出身藩
12 エチルアルコールの――点は13度です
14 地球表面のおよそ3割
16 誇りや自尊心を意味する片仮名語
18 競馬場ではラチともいいます
20 ラグビーが盛んなポリネシアの王国
21 母校から巣立ちます。――式、――アルバム

ヨコのカギ

1 桃の節句に行う行事
2 東京のソメイヨシノは3月末ごろ――になることが多いです
3 唱歌『春の小川』でスミレやレンゲが咲いている場所
4 イチゴ畑に防鳥――を張った
6 腰を掛ける家具
9 アラジンがこすると精霊が出てきました
11 木枯し紋次郎がかぶっています
13 甘い物よりお酒が好きです
15 湯畑が有名な群馬県の温泉地
17 忍者が指を組んで結ぶもの
19 金づちで打ちます

●先月の答え
「キサラギ」
（如月）

●応募総数
201通
（正解197通）



●当選者
山﨑　賢司さん（美山）
松村　昌幸さん（丹波）
沖野　啓志さん（福知山）
松山とみこさん（亀岡中部）
田中美智子さん（篠）
土井　豊さん（野田川）
竹内　義明さん（峰山）
志水　一夫さん（網野）
田中潤一郎さん（久美浜）
四方　和義さん（宮津）

郵便はがきに答え・住所・氏名・年齢・電話番号、「ぱあとなぁ～」やJA京都に対するご意見などを書いて**2月28日（月）までに〒621-0806 亀岡市余部町天神又2番地　JA京都本店・総務課**あてに送ってください。正解者の中から10人の方に粗品をプレゼントします。当選者の発表は、「ぱあとなぁ～」3月号誌上でさせていただきます。なお、ホームページ「ご意見・お問い合わせ」欄からもご応募いただけますので、必要事項をご記入の上、どしどしご応募ください。

本誌にお寄せいただいた個人情報は、誌面作りやプレゼント品の発送に利用させていただきます。
また、お寄せいただいたご意見・ご感想やイラストは「お便り紹介」のコーナーに掲載させていただくことがあります。

お便り紹介

●退職後、家庭菜園をぱあとなぁ～や家の光を見ながら頑張っています。毎年エンドウやスナップエンドウ、キヌサヤ、ソラマメ等、雪害や寒さで枯れてしまうものがありましたが、今年はアーチにネットを張ってやりましたら、今のところ元気に育ち、大きくなって収穫を楽しみにしています。
（丹波・北村容子さん）

（加悦・西村八重子さん）

●私は65歳で定年退職しましたが、若い方が農業で生計を立てていらっしゃるのには感動します。特に京都には大きなブランド力があり、有数の野菜やお米の生産地でもありますので、期待しております。私も少しですが、農業に携わっていきたいと思っています。
（福知山東部・小笠原悦子さん）

●聖護院だいこんに白みそとレモンの組み合わせが意外でぜひ作ってみたいと思いました。かぶでもよさそうですね。たわわ朝霧に行くと、スーパーにはない野菜や京野菜も安く買えるので、買い物が楽しいです。
（亀岡中央・林よし子さん）

（峰山・安田美喜さん）

●今年はコロナが消えてほしいです。JA女性部の行事もコロナで楽しみにしていると無くなり、去年の終わりにこんにゃく作りがあり、久しぶりに楽しく過ごしました。
（網野・野村久栄さん）

（網野・上田千秋さん）

（宮津府中・福留結葉さん）

●発行日／2022年2月19日　●発行／京都農業協同組合
〒621-0806 京都府亀岡市余部町天神又2　☎0771-22-5505
〈ホームページアドレス〉 https://jakyoto.com

JA 京都は「みんなのよい食プロジェクト」に取り組んでいます。
JA 京都広報誌「はあとなぁ～」は環境への配慮から、再生紙にベジタブルインク（植物油）で印刷しています。

八木支店

えがお写真館 Vol.83

大宮支店

小牧 勇心（こまき ゆうしん） くん (4)

勇ましい心で勇心。毎日笑顔で、明るく優しく、たくましい子に育ってね!!

松本 悠加（まつもと ゆうか） ちゃん (1)

元気で毎日動きまわる姿が素敵です。これからもいろんな事にチャレンジしていってほしいです。

「えがお写真館」は、JAのこども共済にご加入で就学前のお子さんを紹介しています。

お子様の教育資金の準備にJAのこども共済
JA共済

季節のおいしいレシピ

ほうれん草と豚肉のみぞれ煮

［材料（4人分）］　調理時間 15分

ほうれん草…　1束(約200g)
ダイコン……　200g
豚肉の薄切り……　300g
ハナビラタケ……　80g
ユズの皮……　10g
水……　800cc
塩……　小さじ2

［作り方］

①沸騰した湯に塩(分量外)を入れ、ほうれん草をゆでる。水にさらして水気を絞り5cmの長さに切る。
②ダイコンはすりおろす。
③ユズは皮を2/3はみじん切りに、残りは細切りにする。
④鍋に水800ccを沸かし豚肉を入れる。色が変わったら、①のほうれん草、食べやすい大きさに分けたハナビラタケ、②のダイコンおろしを加えて一煮立ちさせる。塩で味を整え、ユズのみじん切りを加える。
⑤器に盛り、細切りにしたユズを添える。

レシピの考案 ▶ 料理家・管理栄養士／吉村雅子先生

食卓を彩る鮮緑色はおいしい緑黄色野菜

ほうれん草

原産地は西アジア、コーカサス地方で、日本へは江戸時代に伝わりました。管内では京丹波町（瑞穂）が主な産地です。緑黄色野菜の中でも栄養価が高く、カロテンやビタミンC、B群のほか、鉄やマグネシウムなどのミネラル類も多く含んでおり、生活習慣病の予防に効果があるといわれています。近年の品種はアク（シュウ酸）が少なく、ゆでるとほとんど残らないそうです。

〈3月の訪問日〉　3月19日の第3土曜日です